

# Richard Sennett, *Flesh and Stone*

## Introduction その2

2008年度大学院講義 後期

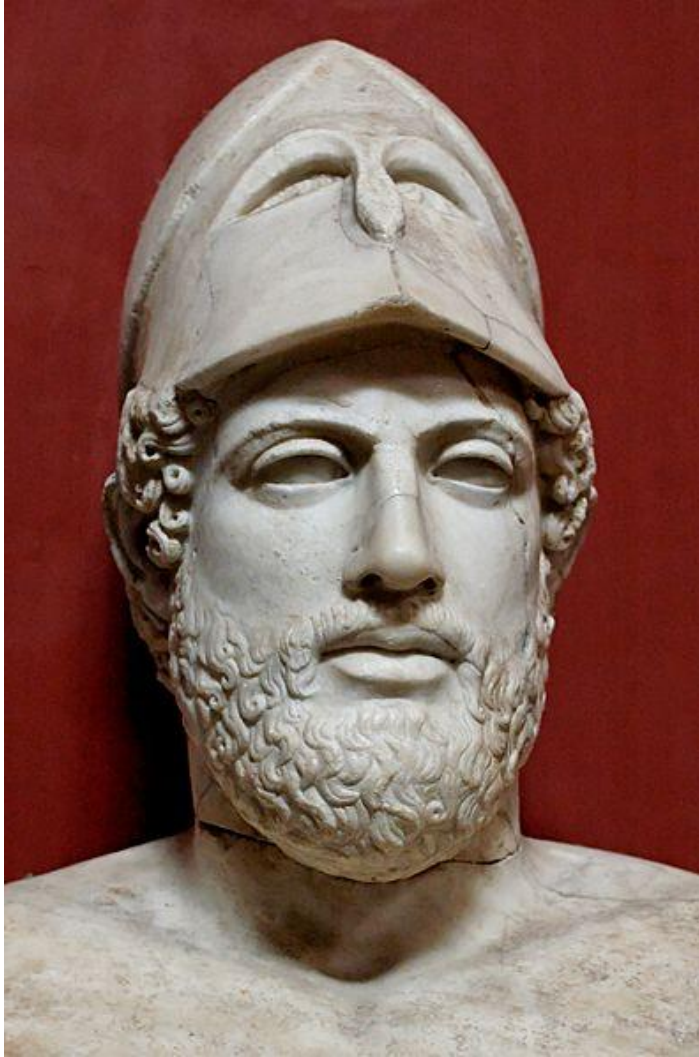
鈴木繁夫

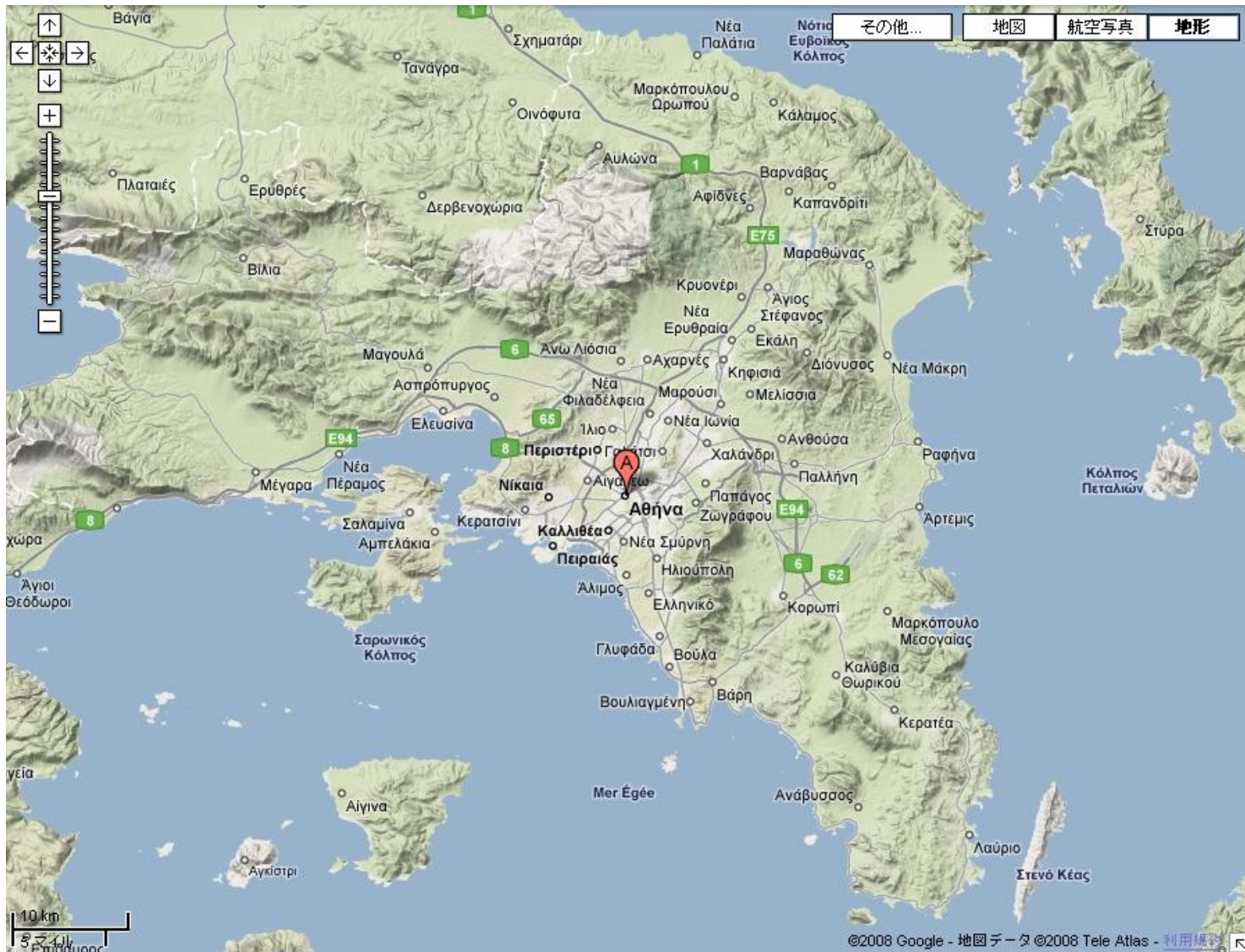
# Whose body?

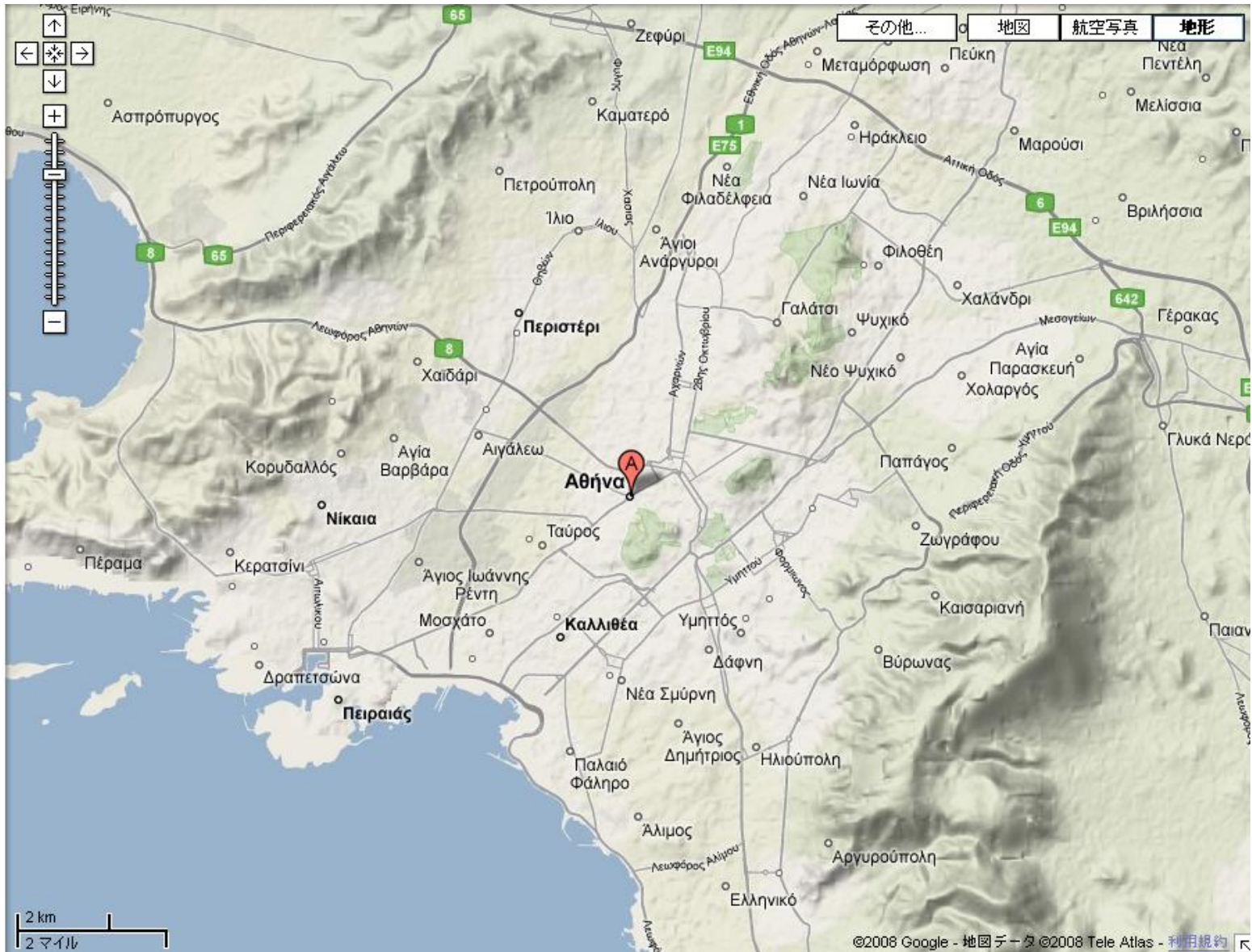
- 人間の身体
  - 年齢、性別、人種とともに異なる
  - 集団的な「原・身体像」(master images of body)
  - 原・身体像は社会的→実在する人間身体の欲求を抑圧する
- 原・身体像と社会
  - 抑圧と統制の機構→全体性・一貫性
    - ソールズベリーのジョン： 身体器官と身分との照応
    - カテドラル＝脳→人々はカテドラルのなかをゆっくり歩く
- 原・身体像と欲求
  - 相反する欲求を抱えるのが身体→秩序だけで都市計画はできない
  - 原罪→受苦と不幸
    - アダムとオイディプス

都市

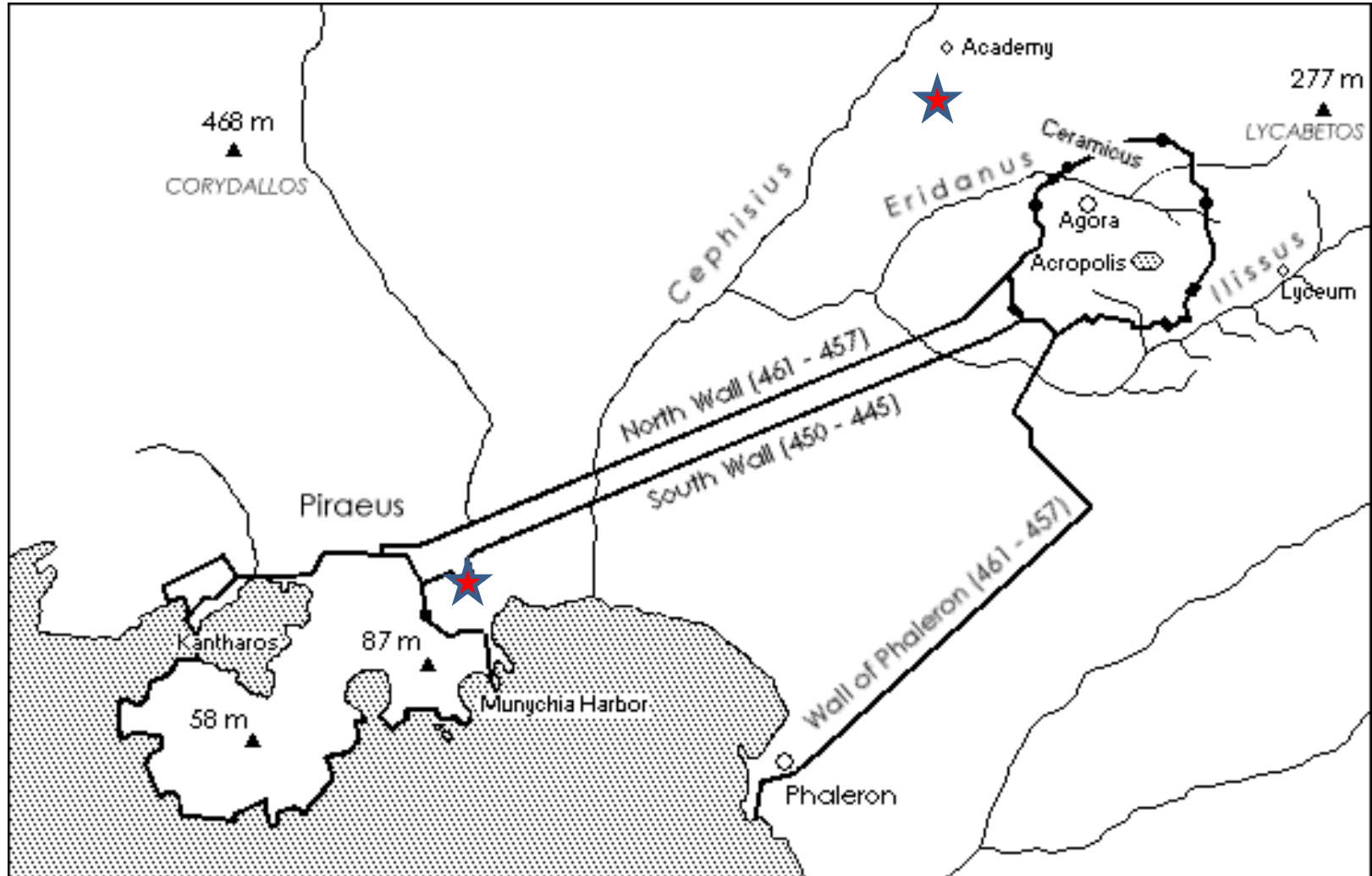
# 身体とそれがおかれた場の関係：古代ギリシア



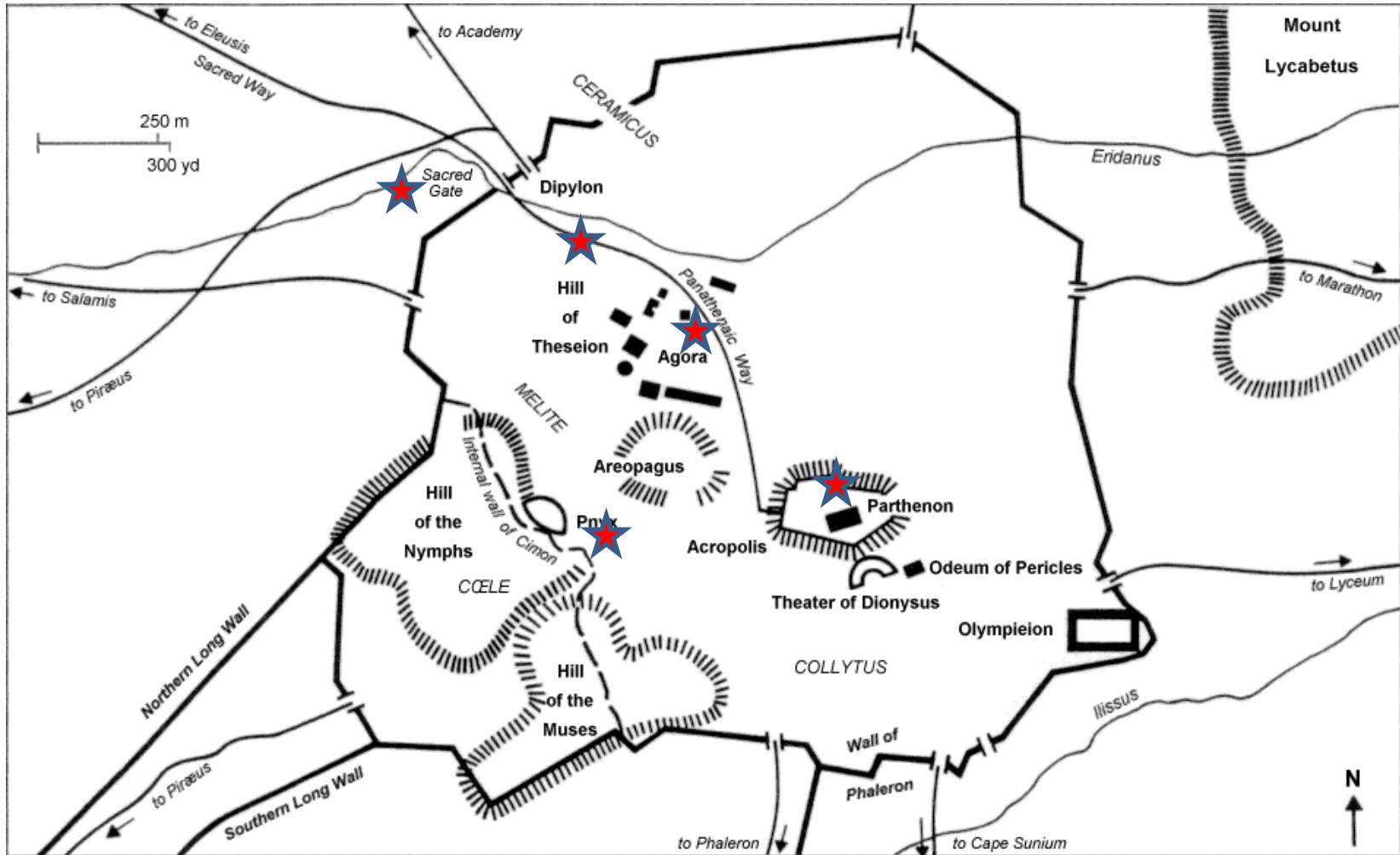




# 地図：ペリクレス時代のアテネ（城壁外）



# 地図：ペリクレス時代のアテネ（城壁内）



# ペリクレス時代のアテネ

- 市民の都市と百姓の田園
  - 都市には「労働」という概念が薄い
  - 墓地は正門近くの城壁外
  - 壺屋→石切り屋→パルテノン神殿
  - パルテノン神殿: 表面重視、市内の視線の中心  
→市民の心の一致
- 体熱→裸でも大丈夫
  - 熱い男性=公務 vs 冷たい女性=家内=チュニカ
- 裸の危険→受苦への不感症 →自己破滅  
→言葉の熱による扇動

# 青年の肉体

- ギムナジウム(「丸裸」)←アカデミア内にある
- レスリング
  - 体熱の向上→知性抜き暴力から昇華された力へ
  - 討論(言葉の競技)↔ユダヤ型丸暗記
- 身体は都市(polis)に帰属する
  1. 強靱な身体＝有能な戦士
  2. 鍛えた声＝公務参加を可能にする
  3. 裸＝性的なアピール←少年愛が一般

男性(erastes)が青年(eromenos)を愛する  
市民が都市を愛する

身体の区別標識

現代 : 同性愛

ギリシア: 女性性(malthakoi)＝性交渉において受け身

# アテネの建物と身体:ストア

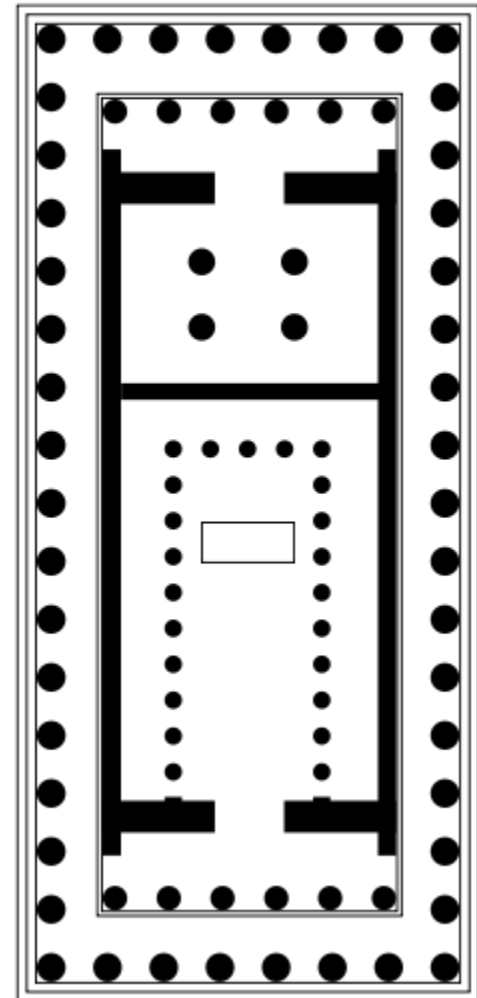
- 壁側＝冷、柱廊側＝暖
  - － 暖の側を向いて食事



# アテネの建物と身体:パルテノン

0 5 10 15 20 m

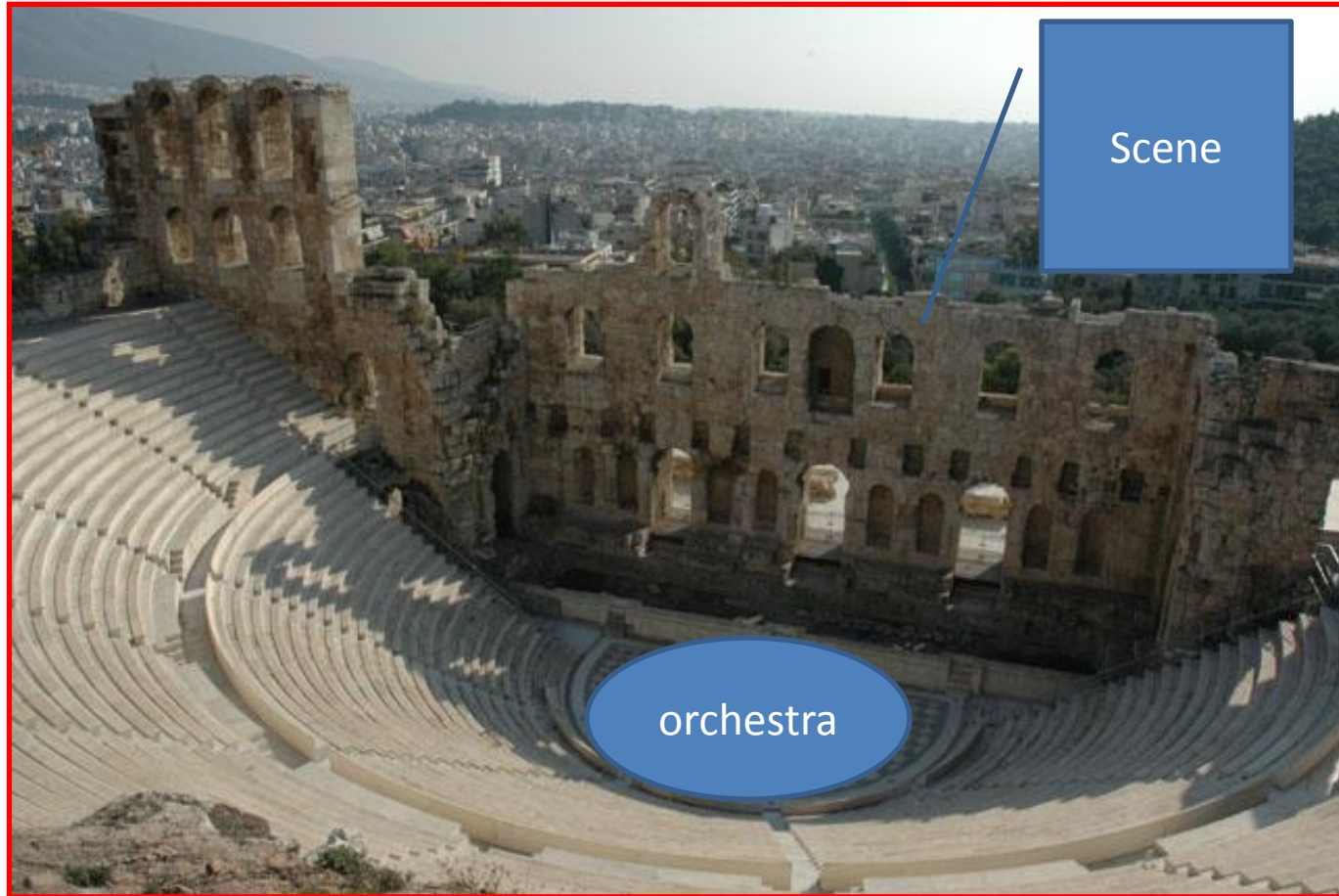
- 巨大ブロンズ女神像  
パラス・アテネ
  - 従来と異なった比率
  - 敗北は女神の陵辱



# 劇場型市政堂(Bouleuterion)



# 劇場の建立とアゴラの衰退



# プニュックス丘の政治討論



# 市民の声

- アゴラ→無設計  
ポリフォニック→歩き回る→諸活動(裁判・買い物・ゴシップ)
- 劇場 →設計  
一つの声→座る=服従→扇動
- 劇場型市政堂(Bouleuterion)→設計と隔離  
- リーダーの声→議員は座る=服従→一致

# 市民とは？

- 住民の15-20%
- 市民民のみが議論参加
- 資格 1 タラント(6000ドラクマ)  
奴隷一日の賃金1ドラクマ
- 城壁外(khola)に住む  
アゴラまで片道4時間
- 市政(500人)参加 約300日／年
- 声が姿よりも近々  
→行為者(actor)vs観客(spectator)

# 修辞の力

- 市民集会での  
指揮官死刑執行決議 (ペロポネス戦争末期)
  - 指揮官たちの主張: 嵐が敗北の原因
  - 下士官たちの主張: 市民集会は決議権がない
  - 弾劾者たちの主張: 臆病が敗北の原因
- ペイソー(peitho/ πειθω ‘)
  - 武力によりも言葉の力によって人々の黙従を勝ち取る
- 弁論家
  - ホメロスの「言葉の熱」を聴衆の身体に喚起する
  - 幻想(illusions)によって聴衆の疑似経験を生む

**疑似体験は浮動する**

**採決断行→断行への扇動者糾弾→採決撤回  
→採決前回帰不可能→優柔不断状態**

# 言行不一致の傲慢(hubris)

- 身体の熱、裸への誇り、裸の露出が言葉の力に隷従する
- 傲慢：  
社会統制の枠を越え出ても、越え出ることを当然とする願望に、身体が従属してしまうこと

# 理性が都市に組みこまれる？

- 石からなる都市は、身体の熱を統制できるか？
- 理性的行動が要求するもの
  - 激情の抑制＋自分の行動に責任を取る
    - ← 他人の発言・行動が劇場構造のため  
可視になっている
- 民主制が要求するもの
  - 対等な発言権
    - isegoria/ ἰσηγορία アゴラに対等に行くこと
    - parresia/ παρρησία 言論の自由
  - グループ連座制

# 市民の被攻撃性

- 座る姿勢・裸での決議←一声への服従

受け身の姿勢で激情の熱を受けとめる身体

現代：心と体の亀裂は、乾いた頭脳が身体の感情を抑圧

当時：身体が言葉に支配され、言行不一致がおこる